

アクト・アクセラレーター ウォッチ

ACT-A WATCH

新型コロナとたたかう国際協働のいま

JCIE

医療従事者には喝采ではなく、構造的な支援を ある医師の訴え

2022.01.14 アフリカ 保健システム



ゾレーワ・シフンバさん（写真：グローバルファンドウェブサイトより）

南アフリカの若き医師であり、多剤耐性結核と新型コロナウイルス感染症（COVID-19）にかかった経験を持つゾレーワ・シフンバさんは、医療従事者の環境改善を訴えるアクティビストであり、ACTアクセラレーターでは、コミュニティ代表者の一人として現場の声を伝えています。COVID-19とのたたかひの最前線で働いた恐怖と使命感と焦燥感、そして今、医療の現場を離れアクティビストとして世界の医療従事者の置かれている状況を改善するために声を上げる思いを、グローバルファンドの[インタビュー](#)で語りました（抄訳。[全文訳](#)はグローバルファンド日本委員会のウェブサイトに掲載されています）。

COVID-19のニュースを初めて聞いたのは、昨年、南アフリカのクワズル・ナタール州の田舎にある郡立病院でコミュニティ訪問診療を行っている時でした。私は昔、医学生のとときに多剤耐性結核に感染して以来、資源の乏しい状況での医療システムがいかに危険かわかっていました。外国の映像で、医療従事者がウイルスから身を守るために全身を覆う防護服を着ているのを見ていました。私たちには、普通の医療用エプロンとK95マスク（訳注）が与えられましたが、N95マスクはもう見つかりませんでした。数週間後にやってくるであろう多数の患者を収容するスペースがないこともわかっていました。病院の経営陣に、医療従事者の保護が十分でないと訴えました。やがて病院のスタッフの間でCOVID-19が発生するようになりました。

あらゆるものが不足してきました。（ガウンやマスクなどの）個人防護具（PPE）も不足していましたが、医療従事者は、必要な防護具がなくても患者に対応することが求められました。医療用酸素も不足していました。酸素を与えなければ、少なくともここにいる半数の人たちを失うことになることになりながら、2つしかない酸素タンクと酸素を必要とする多くの患者さんを前にしなければならぬのは精神的につらいことでした。酸素飽和度20%の人が入院してくることもありましたが、「ここでは酸素ボンベが足りていない。どうしよう」と考えてしまいます。同じことが何度も繰り返されました。酸素を入れることができた人でも、結局、酸素濃度を十分に上げることができずに亡くなってしまった人もいました。このトラウマは、押し潰されるほど強くまた広範なものでした。自分が守られていないと感じるトラウマと、自分たちがサービスを提供している人々が物資不足で十分なケアを受けられないことへの憤りのトラウマが混在しているのです。世界中の医療従事者がパンデミックのために亡くなっていたり、ストレスで自ら命を絶っている人がいることもトラウマでした。

私自身もCOVID-19に感染してしまいました。疲れて、咳が出て、頭痛がして、胸が痛くなって、息をするのに力を入れなければならないというのは異様でした。一度だけ病院で酸素吸入をしましたが、すごく待たされました。その後、復帰しようとしたのですが、不安感がとてつもなく大きくなりました。十分な防護策を取ることができずに医療従事者が感染するという状況に対し、私には声を上げる責任があると感じました。医療従事者はヒーローとして拍手喝采を浴び、称賛されています。しかし彼らが必要としているのは、もっと構造的な支援です。保健医療のインフラへの投資も、医療従事者への投資もせずに、この世界はどうやってCOVID-19に勝てるのでしょうか。こうした構造的な変化は、COVID-19だけでなく、結核やHIVなど他のパンデミックの状況も改善するはずですが、

そこでUxhaso Home of Hotepという組織を立ち上げました。「Uxhaso」とは、コサ語で「サポート」を意味します。私が行っているのは、PPEや酸素など、必要なサポートを求める医療従事者のためのスペースを提供することと、私たちが経験していることを人々に理解してもらうために、自分たちのストーリーを語る場を提供することです。私は民間団体と協力して、病院に酸素を寄付しています。この数年間、私はとても大きな声を上げ活動してきました。人脈を得たおかげで、自分の声を使って他の人のために効果的な主張をすることができるようになりました。私たちを治療し、癒してくれる医療従事者は、この危機を乗り越えるために私たちを助けてくれる存在です。では、誰が彼らを癒し、助けることができるのでしょうか？

訳注：原文ママ。KN95マスクのことを指すと思われる。

シェアする

ツイート

一覧に戻る

NEWS

2022.10.21 **ACT-Aの外部評価を公表 おおむね高評価の一方、今後の教訓も**

2022.09.30 **パンデミックの終息に向け、3つのギャップ克服を グテーレス国連事務総長**

2022.09.29 **最もリスクの高い人々のための検査と治療へのアクセスがカギ ACT-A分...**

2022.09.28 **ACT-Aの各分野、多くの国で目標からいまなお遠く**

2022.07.11 **G7サミット、COVID-19対策を議論 パンデミックに備える新たな金...**

アクト・アクセラレーター ウォッチ

ACT-A WATCH

新型コロナとたたかう国際協働のいま

[TOP](#)

[NEWS](#)

[ACT-Aとは](#)

[Twitter](#)

[Privacy Policy](#)

JCIE JAPAN CENTER FOR
INTERNATIONAL EXCHANGE
日本国際交流センター

〒107-0052

東京都港区赤坂1丁目1番12号 明産溜池ビル 7F

Tel.03-6277-7811 Fax.03-6277-6712

©Japan Center for International Exchange (JCIE)